

## 総記

普段、何気なく目にする本屋さんの棚でも、ただ本を並べてるだけじゃないんです。  
アナタがこの本に出会ったのも、この棚があったから。  
棚には本屋さんの思いが詰まっているのです。



『棚。は生きている』  
青田恵一 著 青田コーポレーション 2006  
/024/A56t/2006

## 哲学

孔子の智慧  
→ 現在社会に響  
心の振動



『洪沢栄一 論語の読み方』  
洪沢栄一 著 竹内均編・解説  
三笠書房 2004 123.8/Sh21s/2011



## 衣食住

「え、お菓子の本・・・？」  
いいじゃないか！好きなんだから!!

写真を眺めるもよし、ひとつのお菓子から始める世界史を学ぶもよし、この本を手にとった時点でアナタの心は既に叫んでいるはず。  
「お菓子が大好き」なのだ。



『お菓子の由来物語』

猫井登 著 幻冬舎ムック 2008

383. 8/N62o/2012

## 自然科学

光とは？相対性理論？  
ムズカシそー…  
量子論…？なんじゃそりゃ!?  
バカバカしいけど…納得できちゃう  
あなたと科学のキョリが一気に  
近づく…！？ ……カモ。。



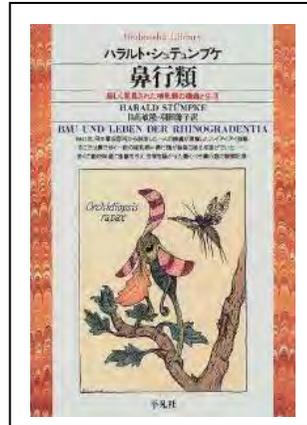
『感じる科学』

さくら剛 著 サンクチュアリ出版 2011

404/Sa46k/2012

## 動物学

非常に高度なトンデモ本。  
学術論文を装った思考実験はドラ  
マチックな展開をみせる。  
読むとニヤニヤすること必定。

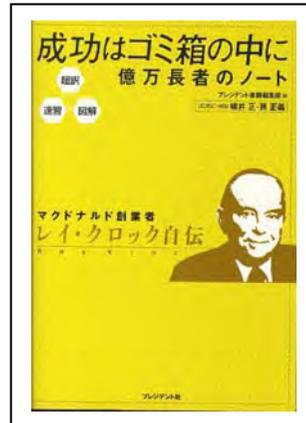


『鼻行類：新発見された哺乳類の構造と生活』  
ハラルト・シュテンプöケ著 平凡社 1999  
480/St9b/2010

## 商業

挑戦→失敗→成功  
“花道は険しい道だ”

『成功はゴミ箱の中に億万長者  
のノート』  
プレジデント社 2012  
673.9/P97s/2012



## 商業

未・将来 CEO の道へ

創造者 Marketing

兆億万者!



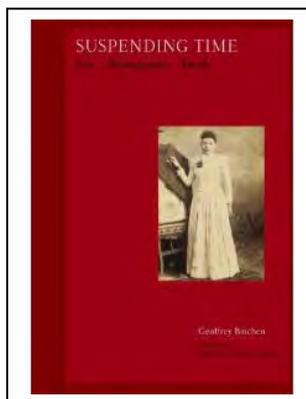
『知識ゼロからのマーケティング  
入門』

弘兼憲史 幻冬舎 2009

675/H71c/2012

## 写真・印刷

写真はアラキーや  
キシンだけじゃない!!  
確かに存在が写ってしまっ  
ているのだ!!  
(バイリンガル本です)



『時の宙づり：生・写真・死』

ジェフリー・パッチェン

Izu Photo Museum 2010

740/B27t/2010

写真・印刷

カメラになった男、  
中平卓馬の軌跡

『都市風景図鑑』

中平卓馬 月曜社 2011

748/N33t/2011



写真・印刷

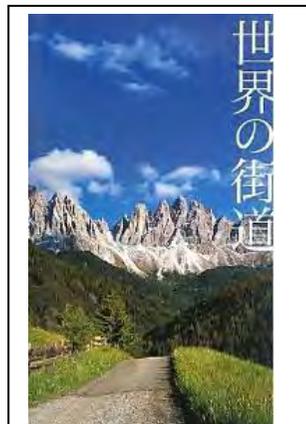
インターネットよりも、  
電話よりももっともっと遙か  
昔から世界は街道で繋がって  
いる

『世界の街道』

ピー・ピー・エー送信社写真

ピーエ・ブックス 2010

748/P67s/2010



## 工芸

暮らしの中で使われる日用品は手仕事のものから工業製品へと取って変わっている。工業製品は便利で美しいものが多い。でも、手仕事のやさやかさやいびつさも愛おしい。どっちも楽しめる感覚を養いたいものだ。

『うつわ 民藝の教科書 1』

萩原健太郎著 グラフィック社 2012  
751.1/H14u/2012



## 工芸

「民藝の教科書 1 うつわ」に引き続き目を通してもらいたい。地域固有・バナキュラーなものは、なにか琴線にふれるものがある。本書は誰にでもわかりやすいしとっつきやすい、本当に教科書だ。

『染めと織り 民藝の教科書 2』

萩原健太郎著 グラフィック社 2012  
753/H14s/2012



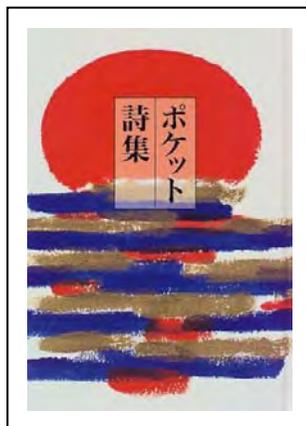
## 詩歌

「昔はわからなかったけれども・・・」  
小学校・中学校で必ず読まれた『詩』  
「何がおもしろいんだろう?」と思っていた人も多はず。  
大人になって読むと昔はわからなかった  
“何か”がわかるかも。

『ポケット詩集』1

田中和雄著 童話屋 1998

911.56/Ta84p/1



## 小説

この秋映画になった  
話題の一冊!!

『鍵泥棒のメソッド』

麻井みよこ著 角川書店 2012

913.6/A83k/2012



## 小説

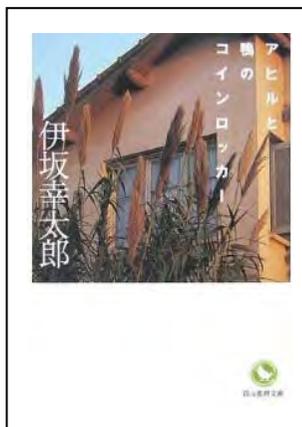
第 25 回吉川英治文学新人賞受賞作  
彼らの物語に飛び入り参加してみませんか？

「辞書さえあればどうにかなる。そんなことを思っている」

『アヒルと鴨のコインロッカー』

伊坂幸太郎著 東京創元社 2006

913. 6/I68a/2012



## 小説

北村薫デビュー作

人が死なない推理小説

新ジャンルを開拓した

傑作

『空飛ぶ馬』

北村薫 著 東京創元社, 2009

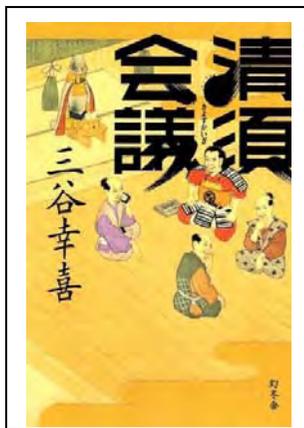
913. 6/Ki68s/2009



## 小説

三谷幸喜の時代劇。  
一足先にあなたも三谷  
ワールドに浸らぬか？

『清須会議』  
三谷幸喜 著 幻冬社, 2012  
913. 6/Mi58k/2012



## 小説

サークル選びに失敗、浮いた話も  
ない・・・  
そんな悶々とした大学生活を送る  
あなたに読んでもらいたい。  
野暮ったい大学生が京都で繰り広  
げるバラ色もさっとした大学生活  
がここに！

『四畳半神話大系』  
森見登美彦 著 角川書店 2008  
913. 6/Mo54y/2012



## 小説

主人公は、  
27人と1匹。

『ドミノ』

恩田陸 著 角川書店 2004

913.6/065d/2009



## 小説

「いい子」って言われたことありますか？  
やさしく悲しい子どもたちのおはなし。  
読み終わった後、泣きながら自分を「いい子」と言ってくれた人たちに『ありがとう』を言いたくなります。

『きみはいい子』

中脇初枝 著 ポプラ社 2012

913.6/N43k/2012



## 小説

オレは小説だ!!!

経営・マネジメントに不可欠の一

冊!! でも専門書ではないぞ

TOC? 全体最適化って何??

さがせ～～



『ザ・ゴール』

企業の究極の目的とは何か』

エリヤフ・ゴールドラット著 ダイヤモンド社 2001

933/G61z/1

?

!



## ■教員選書

今回特別参加して下さった先生は、2つのテーマについて選書して下さいました。

### ■総理たちの声に耳を澄ませば



『自省録』  
中曽根康弘 新潮社 2004  
312. 1/N42j/2004



『中曽根康弘が語る  
戦後日本外交史』  
中曽根康弘 新潮社 2012  
392. 1/N42n/2012



『村山富市回顧録』  
村山富市 岩波書店 2012  
312. 1/Mu62m/2012



『61人が書き残す  
政治家橋本龍太郎』  
文藝春秋企画出版部 2012  
312. 1/Se17r/2012



『小泉官邸秘録』  
飯島勲著 日本経済新聞社  
2006  
312. 1/127k/2006



『実録小泉外交』  
飯島勲著 日本経済新聞社  
2007  
319. 1/127j/2007



『東電福島原発事故  
総理大臣として考えたこと』  
菅直人著 幻冬舎 2012  
543. 5/Ka43t/2012



『素志貫徹』  
松下政経塾著  
国政情報センター2012  
289. 1/N92m/2012

2012年12月16日は、衆議院議員選挙。国民の代表を選ぶ機会です。

選挙の結果次第では、これまでの政権が続くかもしれません。政権交代がおきるかもしれません。そして、新しい多くの政党が登場したことで、これまでとは異なる政権運営が行われるかもしれません。すべては選挙をつうじて決めることができます。

でも、みなさんは、選挙を終えたあとの政権運営は、選ばれた人々に任せっぱなしになっていませんか。せっかくですので、選んだ人々がどのように行動したか関心をもって、見続けてみませんか。

これらの著作は、近年就任した内閣総理大臣が自らの就任期間を回顧したり、内閣総理大臣を支えた人々が見た内閣総理大臣の行動をあらわした著作です。過去の業績を振り返ることは、現代、そして、将来の選択にもつながるはずです。そこで、今後の政権のあり方を考えるためにも、まずは、総理たちが語る近い過去を手にとってみてはいかがでしょうか

## ■「ハコモノ」のミライを考えよう



『権力の館を歩く』  
御厨貴 著 毎日新聞社 2010  
312.1/Mi25k/2010



『ファシリティマネジメント：  
公共施設が劇的に変わる』  
小島卓也著 学陽書房 2012  
318/Ko39f/2012



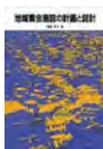
『公共文化施設の歴史と  
展望』  
徳永高志著 晃洋書房  
2010  
379.2/To41k/2010



『ポストモダン建築巡礼』  
磯達雄 日経BP社 2011  
523.1/185p/2011



『都道府県庁舎』  
石田潤一郎著 思文閣出版  
1993  
526/172t/



『地域集会施設の計画と  
設計』  
浅野平八著 理工学社 1995  
526/A87c/1995

住民のために自治体は活動しています。住民に向けた福祉、教育、文化等の実際の行政サービスの提供は、公共の施設が行ってきました。そして、その活動を支えるための施設づくりも、行政の重要な役割でした。

しかし、施設づくりは、莫大な費用負担からも、「ハコモノ」行政と常に批判があります。そして、つくってしまった「ハコモノ」は当然古くなります。そこで、古くなってきた「ハコモノ」は維持や修繕が必要です。その結果、施設の維持には、お金と知恵が必要となっています。このように、現代の自治体では、「ハコモノ」の維持管理は最重要な課題になっています。

「ハコモノ」が直面する危機は、どこか遠くの自治体の課題ではありません。実は、みなさんお住まいの自治体にもある課題です。そのため、「ハコモノ」の未来はみなさん自身の問題でもあります。県庁や市役所といった庁舎、図書館や美術館という文化施設、公民館やコミュニティセンターという自治施設の帰し方、行く末を論じる、これらの著作を手にとってみてはいかがでしょうか。